

佐事研だより 号外

佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 会長 古川 治

～知事部局からの転入者紹介～

会員各位

春の訪れが待ち遠しく感じるようになりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、今回の佐事研だより号外では、知事部局から転入された 4 名の事務職員の皆様をご紹介します。学校と知事部局、その具体的職務内容や雰囲気の違いを感じられる内容となっております。会員の皆様も、自分が初めて学校という職場に来た時を思い出しながら読まれるのもいいかもしれませんね。

大町小学校 白武 知美

【 知事部局での業務内容 】

はじめまして。大町小学校の白武といいます。私の職歴を簡単にご紹介します。

平成 6 年 4 月県庁に採用され、県立図書館資料課、議会事務局議事調査課、土木部監理課、県立病院好生館総務課、西部家畜保健衛生所に勤務してきました。

採用から 21 年目、ここ大町小学校にやってきました。

【 義務制に来て感じたこと 】

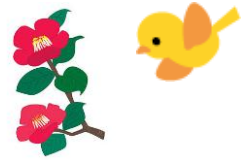
まず、自分が学校現場に勤務するなんて夢にも思っていなかったもので、異動内示でびっくりしました。今までで一番驚いた内示でした。

「先生」と呼ばれる方たち（県議、医師、獣医師）とは長い間お仕事をしてきましたが、自分が「先生」と呼ばれる番になるなんて……。私には小学生の子供がいて「お母さん、事務の先生になったよ」というと「ええーっ、お母さん、先生になったと！？」と子供も大変驚いた様子。その後、「うちのお母さん、先生になったとけど、はじめてやっけん、ちゃんと教えられるとやろうか…。〇〇先生、教えてやってね。」と子供の学校から大町小に転勤された〇〇先生に相談があったそうです。

確かに知事部局では経験のなかった給与・手当関係は、苦労しています。20 年勤めてまた新採です。でも、支援室の先輩先生や山田統括事務長のご指導があり、大変感謝しています。

知事部局では、仕事に子供の笑い声や歌声が聞こえたりすることはなかったけれど、それが私にとっては、いいリフレッシュになっています。

佐志小学校 森永 芳秀



【 知事部局での業務内容 】

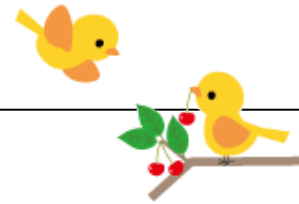
一般庶務、工事契約庶務、用地買収、難病対策、精神保健福祉、感染症対策、県税課税、システム開発・改修及び維持管理

【 義務制に来て感じたこと 】

学校といえば思い出すのが二十数年前、新採で初めての職場が東松浦教育事務所でした。当時、県費関係については、教育事務所を通しての提出でしたので、管内の学校事務職員の方々（教頭先生が事務担当のところも結構ありました。）と学校事務に多少なりとも関わりがあり、色々楽しい思い出があります。

知事部局に異動になり、各種業務に携わっている間に事務のOA化・システム化の波が押し寄せ、服務関係等の事務処理はすっかり様変わりしました。今回、義務制の職場に異動して出勤簿等の書類を見た時、タイムスリップしたような感じを覚えたのが最初の印象です。実際に学校事務に関わり、業務が多岐にわたり基本的に事務職員一人で処理しなければならないところが、知事部局との大きな違いだと感じました。

今後は知事部局での経験を生かせるように、また、学校での経験をこれからの糧となるように頑張っていきたいと思います。学校という場所での児童との関わりには戸惑いや不安もありましたが、楽しく充実した日々を過ごしています。



北川副小学校 片渕 美里

【 知事部局での業務内容 】

新採で畜産課に配属され、庶務（給与・旅費・支出関係処理 等）や家畜商の免許更新の担当でした。また、県税事務所では課税業務（個人事業税や軽油引取税等）を担当しました。個人事業税に関しては、税務署へ提出された確定申告の抽出・書類の記載から課税を行い、軽油引取税に関しては、免税軽油の申請に基づく免税券の発行やトラック等から軽油の抜き取りを行い、簡易な検査を行っていました。

そのほか、会計課では決算・指導担当、障害福祉課では特別児童扶養手当の審査・認定や更生医療の担当などをしていました。

【 義務制に来て感じたこと 】

義務制に来て感じたことは、共同実施や研修がいかに重要であるかということです。

県庁では、個人がそれぞれ業務を行っていて、他の担当と連携しながら業務を行うことが少なかったため、学校に異動した当初は、共同実施や研修が多いことに驚きました。

初めは何もわからないまま参加していましたが、全員で共通の課題を認識し、協議していくことで立場や業務内容への理解が深まっていきました。また、知り合いもいないため人間関係に対する不安も多かったのですが、わからないことなどを相談できる方が身近にできたことで、間違い等も事前に防ぐことができました。

今後も、事務職員同士の繋がり場を、今まで以上に有意義に活用していきたいと感じています。

多良中学校 吉牟田 明子



【 知事部局での業務内容 】

許認可業務、国からの調査・とりまとめ、申請書のチェック、許可の可否の判断、市町からの相談対応、統計に基づく資料作り

【 義務制に来て感じたこと 】

知事部局から義務制の学校へ異動となり、引き継ぎのため多良中を訪問しましたが、玄関がよくわからず、うろうろしていた私に後ろから声をかけてくれたのは、中学校3年間、大変お世話になった恩師でした。「やっぱり吉牟田さんやった！」

不安でいっぱい私でしたが、職員室を開けると知っている先生方がちらほら。中には、当時の部活の顧問の先生までいらっしゃいました。中学を卒業してから10年程経っているのに私を覚えてくれたことに感動。学校事務という仕事は初めてである私に、大丈夫だよと元気づけてくれたこと。生徒のことを何かしら心配してくださる先生方は、10年以上経っても変わられていませんでした。とても楽しい中学校生活を送れたのも、厳しさの中にも愛がある先生方のご指導のおかげだと最近気づきました。こんなすてきな先生がたくさんいらっしゃる多良中が異動先でホントによかったです。

学校事務の仕事は未だによくわかりません。しかし、先生方の負担が少しでも少なくなるように、残された時間、自分なりにがんばっていきたいと思います。

古川会長より



佐賀県では、平成25年度より県職員の採用が一本化され、「学校事務職員」としての採用がなくなり、本年度、新採6名、人事交流として知事部局より5名の行政職員が県内の各小中学校に配置されました。春の佐事研大会において、中島県副教育長の講演の中にもあったように、交流職員には、高い専門性を発揮することを期待しています。佐賀県の学校事務は、全国に先駆けた取組を行っており、学校事務職員として求められる資質もより高度なものとなっています。この資質は、短期間で身に付くものではないため、統括事務長のリーダーシップの下、本年度より学校事務職員の資質向上を目的とした体系的研修を実施し、特に初心者を中心に研修を行っているところです。学校事務職員としてのアイデンティティを高くもち、教員や保護者、地域などからの期待に応え、「子どもたちの豊かな育ちを共に担っていく」という気概をもって、日々の業務に取り組みしましょう。

★編集後記★

知事部局から転入の皆様、お忙しい中、感じたことをそれぞれの言葉で表現していただいた素敵な原稿の提供、ありがとうございました。

今後とも、皆様によりよい情報をお伝えしたいと思いますので、投稿したい原稿やご意見・ご感想がありましたら、各地区の情報推進部員までお願いします。

